

## 【樹木の部屋】

### レモン（ミカン科ミカン属 Citrus limon）

**和名**：レモン(檸檬) **別名**： **英名**：lemon

ムクロジ目 常緑低木 **原産地**：ヒマラヤ

**花言葉**：誠実な愛、分別、熱情、陽気な考え **花色**：白、桃



← 写真-1 レモンの小枝

撮影日：2021年5月4日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

↓ 写真-2 レモンの果実

撮影日：2021年5月4日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-3 レモンの花

撮影日：2021年5月4日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん





#### ← 写真-4 レモンの蕾

撮影日：2022 年 11 月 29 日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

#### ↓ 写真-5 レモンの葉

撮影日：2021 年 5 月 4 日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



レモンは、柑橘類の一種で、中でも主に酸味や香りを楽しむ、香酸柑橘類に属します。レモンの近縁種の一つ、シトロンの別名が枸櫞(くえん)で、クエン酸の名はこれに由来します。

枝には棘があり、葉は厚みのある菱形もしくは楕円形で縁は鋸歯状です。紫色の蕾をつけ、白ないし桃で強い香りのする 5 弁の花を咲かせます。なお、レモンは柑橘類の中では四季咲き性の強い品種です。果実は紡錘形(ラグビーボール形)で、先端に乳頭と呼ばれる突起があります。最初は緑色をしていますが、熟すと黄色になり、ライムにもよく似ています。果実の瓢囊(じょうのう)は硬めで 10 部屋程度に分かれています。

レモンは鉢植え、露地植えのいずれでも栽培ができますが、鉢植えの方が早く開花結実するそうです。増殖は主に接木・挿し木で行えます。

植え付け後 2～3 年間は放任し、その後、絡み合った枝や伸びすぎた枝、内向きの枝を、2～3 月頃に付け根から切り落とす間引き剪定をします。この場合、樹の中心部を開き、樹の中心部への太陽光が取り込めるように開心自然形にすることで収穫を多くすることができるそうです。枝の間の風通しがよくなり、病気や害虫による被害の予防にもなります。

まだ花を付けるだけの大きさに達していない場合や、若くて樹勢が強い場合など、最初の 3～4 年は花を付けないことも多いそうです。樹勢が落ち着いてきたなど条件が揃うと急に花を咲かせ始めるので、多少気長に育てることが大事だそうです。

レモンの果実は葉約 25 枚に 1 果とされています。ただし、新しい花や枝の数を増やして栄養を使い過ぎると、実が十分に育たないことがあります。このため、枝は増えすぎないように適度に減らす必要があります。さらに、枝の先端付近に花芽

をつけるため、切り返しは行わず、密生した枝や徒長した枝、弱ったり枯れたりした枝を間引く程度にします。

### <ちょっと一言>

＊瓢囊(じょうのう)：

- ・果肉の粒、砂瓢(さじょう)を包んでいる薄皮のこと。

果実は10個前後の小袋が放射状に並んだ形状をしており、小袋を瓢囊(じょうのう)、小袋の薄皮を瓢囊膜(じょうのうまく)、小袋の中身(果肉)を砂瓢(さじょう)と呼ぶ。

＊シトロン(ミカン科ミカン属 *Citrus medica*)

和名：シトロン、マルブシュカン(丸仏手柑) 英名：citron

＊ライム(ミカン科ミカン属 *Citrus aurantiifolia*)

和名：ライム 英名：Lime、Key lime